

平成30年度

# 会館だより

第4号

## もの申す箱特集

岩手県学生会館

平成30年9月19日発行

長かった夏休みもそろそろ終わり、勉強、学園祭など本格的な大学生活をエンジョイできる季節となりました。久しぶりの帰省で岩手の良さを満喫し、このまま居たい、と親の愛情についつい甘えがちになった人もいるでしょうか。反対に、一刻も早く東京の喧騒に巻き込まれたいという独立自尊、都会憧れ派の方もいたことでしょう。尤も帰省せずにカップラーメン頼りに会館にとどまっていた強者も数多く見られました。

さて、4月に元気はつらつとした新入寮生を迎え、新年度の会館の生活が始まって半年が過ぎようとしています。実は今年度特に気が付いたことがあります。それは快適な会館生活を目指したいという願いで設けた「もの申す箱」の活用です。以前も結構活用されておりましたが、ここ2、3年鳴りを潜めていました。それが何と、大復活を遂げたのです。今回の「会館だより」はその特集号とします。すでに解決したこともあるかもしれませんが、皆さんがこの投書をどう考えるかというところが大きなポイントだと思います。もちろん無記名です。私は誰の投書かというのは大体想像はつきませんが、誰であっても真剣に回答したいと思います。ただ、正直、こんなこと言いたくない、という気持ちにさせられるものもあります。皆さんはどうでしょうか。他人事として無視するか、同じ寮生として真剣にとらえるか。一人ひとりの姿が浮かんできます。

◎以前も「もの申す箱」に書いたのですが、5階の女子トイレでいつも流さない人がいて不快です。誰か特定できないので呼びかけ等をしていただきたいと思います。私だけでなく5階の学生も何人か困っています。館長から

最初にこのことを知ってから、何度かトイレを調べました。最初はウォシュレットが壊れているのではないかと（よく水漏れなのか）が訴えられていましたので）と確認しましたが特段問題はなく、やはり流し忘れ？だったようです。できることはトイレのドアに張り紙をして注意喚起を促すしか方法がありませんでした。その後も時々この現象は続いているようです。残念です。文字通り「立つ鳥跡を濁さず」皆さんも気を付けてください。

◎4階の洗濯機の洗剤口に洗剤が残ったまま（まったく減らないで）洗濯が終了して、2度洗うことになってしまっています。館長から

そもそも、洗濯機には洗剤口はありません。洗剤は直接入れることになっていきます。ご指摘の洗剤口というのは柔軟剤等を入れるところを指しているのではないのでしょうか。皆さんも気を付けていただきたいと思います。今までにランドリーの問題というのは取り込みがなされていない、というのが多かったようですが、その他に洗濯機の使い方そのものが分からず、何でも突っ込んで傷つけたということもありまし

た。わからなければ人に聞く、調べるということは生きていくうえで必要なことでしょう。心してください。

○欠食届や夕弁の申し込みをネットからできるようにしてほしい。チェックしようと思っても、食堂に行かないと出来ないの、忘れてしまうことが多くあります。また、夕弁は間違えて他の人の行に丸をしてみました、されたなど聞くので、お金もかかる事なので良くないと思います。ネットだとそのようなミスも防げると思いました。

館長から

おっしゃるとおり。欠食制度を導入しようとした時点で私も同じように考えました。ちやうど同じころにホームページのリニューアルが必要だったことから業者の方に頼もうとしました。しかし、値段を聞いて諦めてしまいました。十万円もするのです。それ以来裏紙を利用した手作りの欠食届を基にパソコンでエクセルを用いた表計算をしているのです。頭の中で考えるほど簡単なことではなかったのです。文字どおり、お金の関わる事なのでセキュリティのことがネックとなるのだそうです。どなたか無料でプログラムを組んでいただける方はいませんか。よろしく。

### ○食堂についての意見

①夕食について当日急にA、B共通メニューとするのはなるべくやめてほしいです。事前に栄養成分やカロリー等を考慮したうえで食事を選んでるので、共通のメ

ニューにされると困ります。

②夕弁のご飯の量に関して「ご飯少なめ」や「おかず少なめ」などのオプションを追加して欲しいです。量を多くする選択肢はなくてもいいですが、遅い時間にあまり多くの食事を摂りたくないという意見もあるので、量を少なくできるようにしてほしいです。

③朝晩の食事を掲載する表の栄養成分表示の項目に「脂質g」というのを追加してほしいです。

館長から

ご指摘のあったことについて早速厨房の方と話し合いを持ちました。その結果を言う前に以前の食堂との関係を述べておきたいと思います。

現在の寮生は当たり前だと思っていると思いますが、以前は欠食制度がありませんでした。寮生は全員が喫食するという前提で契約を結んでおりました。しかし学生の中から、食べないのにお金を取られるのはおかしいという声もあり（私もそう思いました）、食堂との契約を見直し、現在の制度ができたのがわずか5年前のことです。食堂からすれば収入が減ることになり（実際、喫食数に基づいた請求を受けることになり、食材費はだいぶ減りました）、食堂とすれば収入減になったわけです。また、夕弁制度についても以前は10食を目安に、正当な理由で大学関係の行事、研究、サークル活動等に限定し、アルバイトなどの場合は認めておりませんでした。現在は多い

日は10食以上出ておりますし、理由は問うていません。つまり、以前に比べて食堂側からすれば安く、手間がかかるようになったということですね。そういう状況を考えると、私としては少々のことは、まあいいでしょうか、という態度で見えてきました。そういう中での投書でした。

さて、話し合いをした中で次のことが分かりました。第一に、食材を注文する3日前に希望する欄にチェックが付いている。また、後になって勝手に変更している人もいます。つまり食材を注文する時点と、食べる当日で希望するメニューの数が異なってくる、というものでした。第二は、食材を注文する際、数食分がワンパックに入っていることも多く、希望者があまり少ないと無駄が出てしまう、ということでした。そういうことから、共通メニュー、あるいは片方だけという日もあるということでした。私のほうからは、もしどうしてもそうするのであれば、事前に告知してほしい旨申し入れはしました。②については一人ひとりにそんな手間はかけていられない状況ですから、良きに計らってください。

この際、ついでは何ですが、欠食届の出し方について苦言を呈しておきたいことがあります。それは、いつ欠食になるかわからないから、とりあえず全部欠食にしてしまえと、思っているかのような方が見られます。結局無断で食事をするということになりませんが、周りの迷惑を考えてください。自己中過ぎませんか。

## ○脱衣所に

①一年生でお風呂の脱衣所のかごやスリッパ置き場に外ばきをもってくる人がいて汚い。

②お風呂に入る前に荷物を置いていく人がいて場所がごちゃごちゃして汚い(一年生)。

③トイレに捨てるべき物を脱衣所のゴミ箱に捨てていて不衛生に感じる。混んでいるのに脱衣所の床に座らないでほしい。そもそも床に座らないでほしい。

④一部一年生のお風呂の使い方が汚くて迷惑です。

館長から

まったく、どうなっているのでしょうか。

対象となる一年生は言うに及ばず、投書した上級生もどうかしていますよ。どうして注意しないのでしょうか。先輩の貫録を示してほしいものですが、もしかして、注意しても言うことを聞かなかったのでしょうか。そうであれば言語道断!もしかして私にその現場で注意してほしいのでしょうか。お断りします。皆さんで解決してください。

○カップラーメンとか未開封のパックご飯とか缶詰とか明らかに冷蔵庫に入れる必要のないものを何でもかんでも共用の冷蔵庫に入れるのはやめてもらいたいです。スペースが限られているので。

館長から

全くそのとおりです。共用の、というところの意味を皆さん重く受け止めていた

きたいものです。いつか一升瓶が入っていたことがあります。冷やしておいしく飲むということでしょうか、どういう神経をしているのでしょうか。空いていたからという言い訳が聞こえてきそうですが、そういうのは屁理屈というものです。今までも冷蔵庫についてはいつもいろいろな問題が生じています。置いていたものが食べられなくなるとか、無くなったとか。対策としては皆さんの自覚に訴えることしかできません。しかし今後は、冷蔵庫を撤去する、あるいは防犯カメラを設置するなどの対策も必要なことかもしれません。利用する皆さんと考えていきたいと思っています。

○ミニキッチン利用の件に関して

①先日冷蔵庫の整理があったようですが、確かにカビているものもあつたようですが、未だ鮮度の落ちていないものまで一度に消えていました。本来記名等しておくべきところを怠った利用側の落ち度(?)ではありませぬもの、事前にその旨を告知していただきたかったと思います。

②少し前に、魚鱗を取った後、飛散した鱗を放置するという誠に然るべからざる件がありました。利用者間での注意には限度がありますので、告知をしていたければ幸いです。

館長から

恐惶謹言

再び冷蔵庫の使用についてです。開けてみたことのある方は乱雑さが良くお分かりのことと思います。自ら管理することが使用上の大原則のほうです。もし自分の家庭

でのことなら、どなたかが整理するのだと思います。どうやらここでもその誰かがいると思っっているようです。自立してない証拠であり、自覚のなさの表れです。必ず記名入りの袋に保存し、期限内に片づけること。今回はあまりのひどさに告知せずに片づけたようですが、自発的な整理整頓が望まれます。

次にミニキッチンの使い方についてです。これはまとめて次に回答いたします。

○入寮した際に台所スペースにある一部の物が共用の物だと説明を受けました。しかし、今ではそこかしこに個人の物らしき物があり、判別ができません。さらには使うと文句を言われる始末です。又、個人の物と思われる物が棚の中では収まらず電子レンジの上や棚の上はまだ散乱しておりませぬ。台所は調理をするためのスペースではないでしょうか?本来の使用用途を考えていただきたいです。

館長から

ミニキッチンの使い方についての問題提起です。以前の暗い狭いキッチンから、やは付くものの明るく広いキッチンに変わってから、利用者も増えてきたように思われます。ただし、冷蔵庫同様、使用するにあたっては自主管理が求められます。前の方もおっしゃっているように、使った後に片付ける、というのは当たり前のことではないでしょうか。尤も、自分では片付けたつもりになっているのかもしれませんが、是非、自分が使った後、もう一度自分が使う立場に

なることを思っ片付けをしてください。

さて、ここでミニキッチンの使い方について確認しておきたいことがあります。

投書にご指摘のとおり、個人の物が置き放し状態になっています。共用の物はレンジ並びにIHヒーターのみです。一部自治会の紙コップ、皿等がありますが、その他は前寮生が置いて行った物か、現寮生所有の物だと思われまます。よって、今後、ミニキッチンに置いてある物は全て撤去していただき。置いてある物は今後、共用の物として自治会管理といたしにします。使われにくいものなら必ず自室で管理してください。

○最近夕飯時に、提供していただいている夕飯を食べずに、自分たちで作って食べている1、2年生の男たちが見受けられます。それにもかかわらず、堂々とカウンタ―からはしを取って、白飯をよそって自分たちが作ったものと一緒に食べています。これは良いことなのでしょうか？個人的には作ってくださっている方々に申しわけないし、非常識だと思っております。20時30分過ぎならかまわないと思いますが。

館長から  
奇異な光景と思われたことでしょうか。世の中には本当に困った人がいるものですが、今回のご指摘は実は、誤解なのです。ご指摘の人物は事前に館長の了解を取り、厨房にも話をしてその上で、こういう行いをしていっているのです。その理由は特に上

げませんが、もう少し見ていてください。そのうち終了するはずですから。またもとのように大盛で食堂のご飯を食べることでしよう。

でも、今回の投書は久しぶりにホッとする内容でした。正義は常に在り、良貨が悪貨に負けてはられませんね。今後ともこの姿勢を大事にしてください。

○お風呂に入浴剤を入れてほしいまたは入館長から

何ということをも・・・以前もそういう輩がいて大迷惑を被ったことがあるそうです。当館のお風呂はろ過機が作動して清潔な状態を保っています。入浴剤はもつてのほかです。それには人には好き嫌いがあるのです。公共の場でそれもわきまえないとは残念なことです。

### 会館からの連絡

#### ○納涼昼食会開催予定

来る10月6日(土)に自治会主催の納涼昼食会を開催いたします。例年は夜に行っていましたが、今年は昼食会となりました。奮ってご参加ください。後日案内文書が出ると思います。

#### ○大規模修繕工事無事終了

5月から8月まで続きました大規模修繕工事が寮生の皆さんのご協力をいただいて無事終了することができました。今年の猛暑の中、窓の外には足場が組まれ、黒いシートに覆われて不快な思いもされたことと思いますがお陰様で見た目も大分きれいになったのではない

でしょうか。ありがとうございます。

#### ○在寮期間延長について

すでに該当者の方には配布しておりますが、在寮2年を過ぎた方でさらに2年の在寮を希望する方には空室があれば選考の上認める、という規定があります。その締め切りが迫っていますので気を付けてください。新入寮生の部屋を確保したうえでのご留意ください。

#### 編集後記

遅くなりましたが第4号をお届けいたしました。今後さらに工夫を重ねて発行してまいりますのでご意見等があればよろしくお願いいたします。

ところで、東日本大震災から早や7年が過ぎましたが、日本各地は先の北海道大地震のように、地震、火山の噴火、豪雨、台風と災害が続いています。自然相手のことゆえ、何とも如何ともし難く、誰のせいだと言えないもどかしさがあります。災害に会われた方には心からお見舞い申し上げます。災害とともに、ご支援をいただいたことを肝に銘じ、連帯、絆の言葉をよすがに、一人ひとりが被害にあわれた方々に寄り添っていくことが必要な事ではないでしょうか。S

平成三十年九月十九日発行

編集並びに発行元

公益財団法人岩手県学生援護会  
岩手県学生会館

同 学生会自治会

住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

tel 03 (3972) 4783

fax 03 (6676) 4471